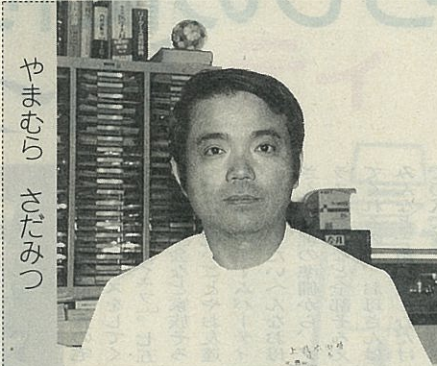


暮らしの中の医療 ④

山村定光先生に聞く



山村定光先生に聞く
昭和22年8月17日生まれ。熊本大学医学部...

神経内科

日本も高齢化社会を迎え、中高年の脳卒中、くも膜下出血、老人の精神・知能障害など、脳の病気が近年ことに重要視されてきました。

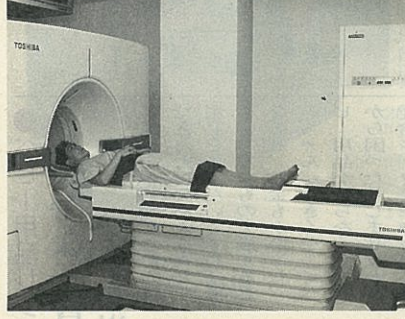
頑固な頭痛、吐き気は 神経内科へ

Q まず、神経内科とはどのような科ですか。
A 最近増えている脳外傷や脳出血などの手術を扱う「脳神経外科」と対比して「脳神経内科」だと考えて下さい。

Q それでは、神経内科として扱う病気とは。
A 大脳、小脳のみならず脊髄、神経、筋肉などの病

Table 1: Main diseases of Neurology. Columns: Disease Location (病気の部位), Disease Name (病名). Rows: Brain (大脳), Cerebellum/Brainstem (脳幹、小脳), Spinal Cord (脊髄), Nerves (神経), Muscles (筋肉).

最新のCTスキャンで患者さんに苦痛を与えることなく脳内出血、脳梗塞、脳腫瘍などの診断が的確に行われる。



Q 諸外国の神経内科への取り組みについてお聞かせください。
A 米国では、米国民の多くが脳の病気、すなわちアルツハイマー病、パーキンソン病、多発性硬化症、筋ジストロフィー、遺伝性神経疾患などで苦しんでお

今後の神経内科の発展に期待
その数はガン患者より多い現状です。そこで米国では、一九九〇年から十年計画で「脳の病気の研究」の国家的プロジェクトが、膨大な予算を投じて既に始まっています。



“中国針”（電気針）は腰痛症、肩凝り、神経痛に、患者さんにほとんど痛みを与えず劇的に有効な

先生の内科医としての医療に貢献
Q 神経内科に対する先生の方針がどうも情熱的に感じました。
A 神経内科は脳内ではまだしっかりと浸透していません。専門医として残念なことです。先程お話しした症状などで悩んでいる方々を、可能な限り救ってあげたいと思っています。

病院を訪ねて
上熊本内科を訪ねたことは、外来の患者さんがとても多いことです。一日約二百人近い外来があるようで、遠くは阿蘇や天草などからの受診も目立ちます。

Table 2: Symptoms of main neurology diseases. Columns: Symptom (症状), Disease (病気).



てんかんやけいれん発作、意識障害の診断と治療には「脳波検査」が威力を発揮する。

脳の病気がクロスアッ プされており、大きな社会問題となつています。
Q 日本、そして熊本での今後の神経内科について考えをお聞かせください。
A 我が国でも、これまで比較的関心の薄かった「脳の病気」への今後の真剣な取り組み研究が強く望まれます。

ヤマザキ Wチャンス 毎週抽選で合計160,000名様 / ポイントテレホンカード プレゼント 毎週抽選で総計200,000名様に当る!

会員制イベント&パーティー ここからはじまる…… 素敵な出逢いをあなたにお届けします。 ピーチ倶楽部 ピーチ倶楽部オータムキャンペーン 感謝プライス ¥2,000パーティー